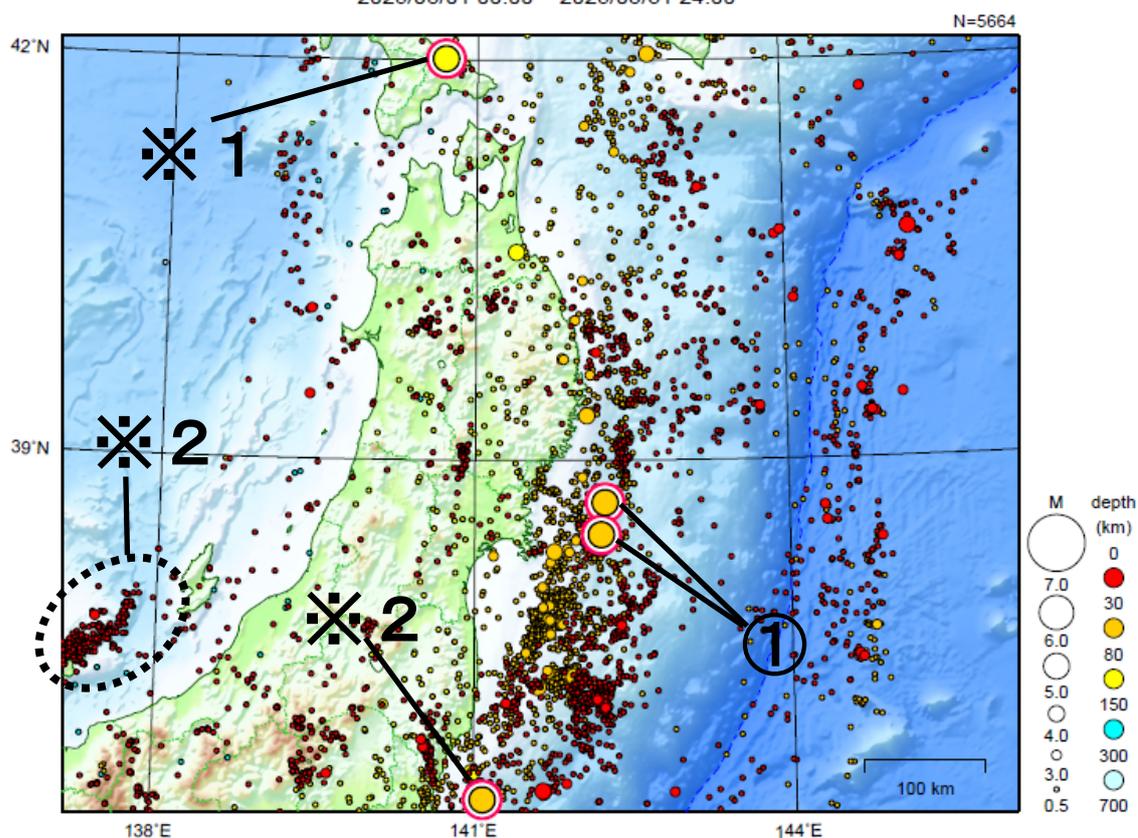


東北地方

2025/08/01 00:00 ~ 2025/08/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 8月22日に宮城県沖でM5.6の地震（最大震度3）が、30日にはM5.8の地震（最大震度4）が発生した。

※1で示した地震については北海道地方の資料を参照。

※2で示した地震については関東・中部地方の資料を参照。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

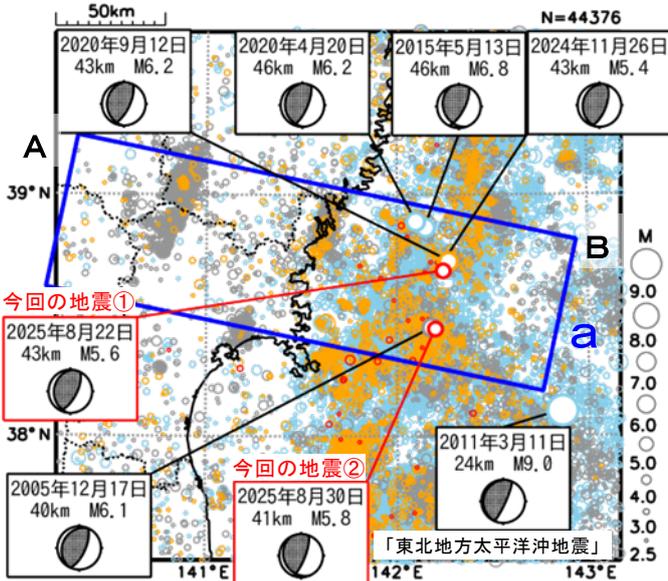
気象庁・文部科学省

8月22日、30日 宮城県沖の地震

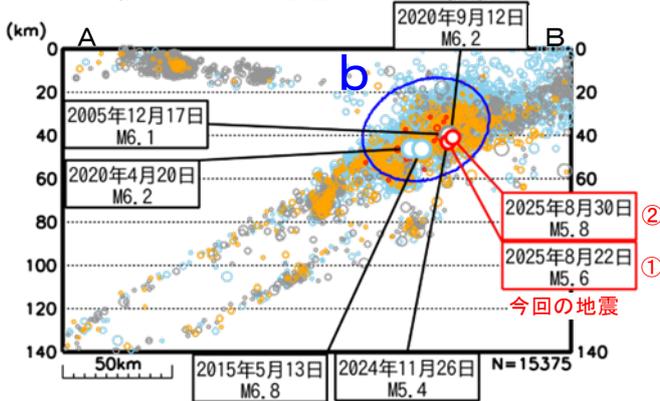
震央分布図

(1997年10月1日～2025年8月31日、
深さ0～140km、M≥2.5)

- 1997年10月1日～2011年2月28日
 - 2011年3月1日～2020年8月31日
 - 2020年9月1日～2025年7月31日
 - 2025年8月1日以降
- 図中の発震機構はCMT解を示す



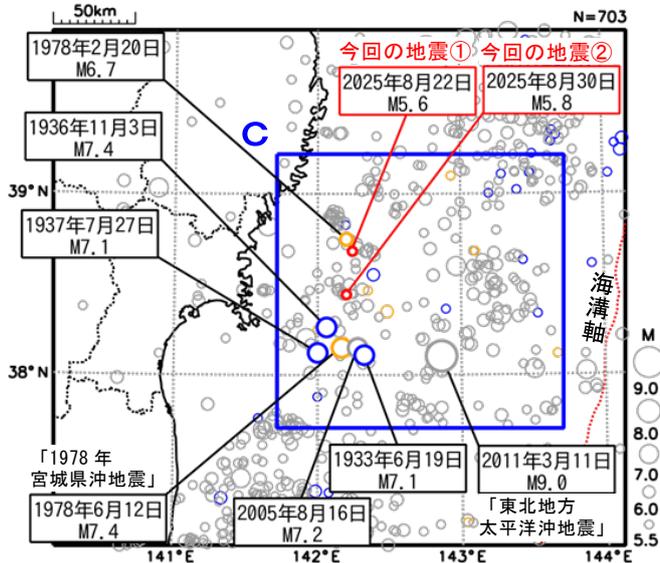
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

(1919年1月1日～2025年8月31日、
深さ0～100km、M≥5.5)

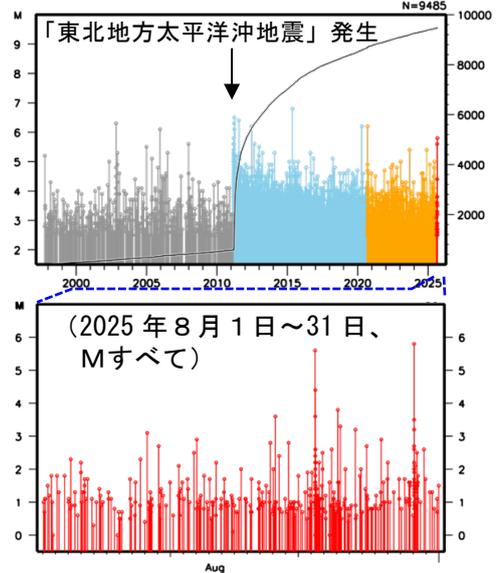
- 1933年1月1日～1937年12月31日
- 1978年1月1日～1979年12月31日
- 2025年8月1日～2025年8月31日
- 上記以外の期間



2025年8月22日07時34分に宮城県沖でM5.6の地震(深さ43km、最大震度3、図中①)が発生した。また、この地震の震央の南約30km付近で30日01時29分にM5.8の地震(深さ41km、最大震度4、図中②)が発生した。これらの地震の発震機構(CMT解)は、①の地震は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型、②の地震は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。これらの地震は共に太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。22日の地震(図中①)の震源近傍では、22日08時06分にM4.4の地震(最大震度2)、24日02時18分にM3.8の地震(最大震度1)が発生している。

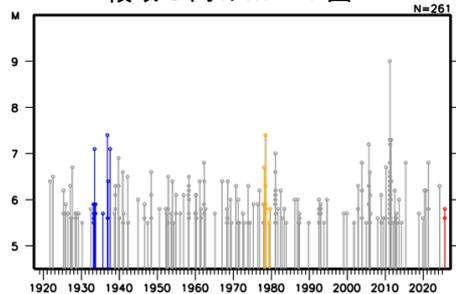
1997年10月以降の活動をみると、これらの地震の震源付近(領域b)では、2015年5月13日にM6.8の地震(最大震度5強)が発生するなど、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)発生以降、地震活動が活発化し、M5.0以上の地震の発生回数が増加している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では「東北地方太平洋沖地震」のほか、M7.0以上の地震がしばしば発生している。1978年には「1978年宮城県沖地震」(M7.4、最大震度5)が発生し、死者28人、負傷者1,325人、住家全壊1,183棟等の被害(被害は「日本被害地震総覧」による)のほか、仙台新港で30cmの津波を観測するなど、北海道から千葉県の太平洋沿岸で津波を観測した。

領域 c 内の M-T 図



気象庁作成